

社会福祉法人「JAいずも福祉会」平成26年度 本部事業報告

1. 基本報告

地域に認められ開かれた福祉施設運営の実現を目標に、地域福祉の増進に寄与するため社会福祉法人「JAいずも福祉会」は組織強化をさらに進め、社会福祉法人としての社会的責務を果たすと共に地域に根ざした福祉施設の運営に取り組みました。

26年度も新規事業者の進出や、既存事業者の施設拡充等競合も激化する中、職員の各種資格の取得、職場研修等によるサービスの向上や、経費の節減等に取り組みました。

全事業利用者数は、1,559.5人減少の87,953.5人、事業収入は640,739千円と2,800千円増加しました。事業活動収支差額は前年度より19,297千円多い74,265千円の実績となりました。

2. 主な事業実施事項

- ① 社会福祉法人「JAいずも福祉会」の組織強化及び体制整備
- ② 各実施事業に関する調査研究および運営の充実
- ③ 人事労務の管理及び運営に関する調査研究
- ④ 地域およびボランティア組織との連携
- ⑤ 関係機関・諸団体と施設との連絡調整と強化
- ⑥ 役職員の資質の向上
- ⑦ 職員研修の実施
- ⑧ 教育広報活動
- ⑨ 職員の新規採用（正規登用）

3. 事業実施内容

① 役員会の開催

社会福祉法人「JAいずも福祉会」の定款の定めるところにより、理事会・評議員会・監事会を開催しました。

理事会 年8回

評議員会 年6回

監事会 年8回（理事会・監査・研修含む）

② 施設長会の開催

施設長会議を定期的に行い、情報交換、運営に当たっての月次決算協議を行い、事業所間の連携強化を図りました。

③ 社会福祉法人「JAいずも福祉会」の組織強化及び体制整備

役員会を開催し、法人の組織強化及び体制整備を随時行いました。

④ 社会福祉施設の運営に関する調査研究および運営の充実

運営計画・入所者の処遇等施設における運営管理の為の調査研究を行いました。

⑤関係機関・諸団体と施設との連絡調整と強化

社会福祉法人「JAいずも福社会」の目的達成のための情報の交換および収集を行うために、関係機関・諸団体と施設との連絡調整を実施しました。

⑥役職員の資質の向上

施設運営をより効果的に発展させるため、役職員の連携と資質向上を目的とした内部研修の充実を図り、各種研究会に積極的に参加しました。

また9月26日にはみどりの郷同交流会を開催し112名の参加により施設間の交流を図りました。

(各施設の研修内容は、施設報告書に記載。)

更に、短期の施設間研修も適宜可能な施設にて実施しました。

⑦教育広報活動

各事業ごとの各種研修に参加するとともに、施設ごとの施設内教育研修のほか、法人全体研修会第1回を11月25日、27日、第2回を2月24日、25日に実施しました。

第1回が「感染症について、コンプライアンスについて」の研修実施。

第2回が「認知症の理解のために」の研修実施。

⑧地域およびボランティア組織との連携・支援

地元地域の「ボランティア組織の方」や「やすらぎ会」等の組織との結びつきを強化し、交流の促進により利用者への福祉サービスの向上に努めました。

⑨職員の新規採用（正規登用）については、26年12月に実施しました。